

大井町人口ビジョン策定のための粗い試算

大井町将来人口推計の試算方法

平成52年までについて以下の3通りの条件の下で人口推計（国が使用する研究機関による推計結果を参考記載）

■ ケース① ： 現在の人口動態が今後も続くとした場合

- 推計方法：コーホート要因法
- 基準日：各年1月1日
- 純移動率：H25～27年中の平均値
- 基準人口：国勢調査ベース人口（H25～H27年）
- 生残率：平成22年神奈川県完全生命表から算出
- 出生率：H24, 25年の5歳階級出生率を適用

■ ケース② ： ケース①の条件に出生率が回復するとした場合

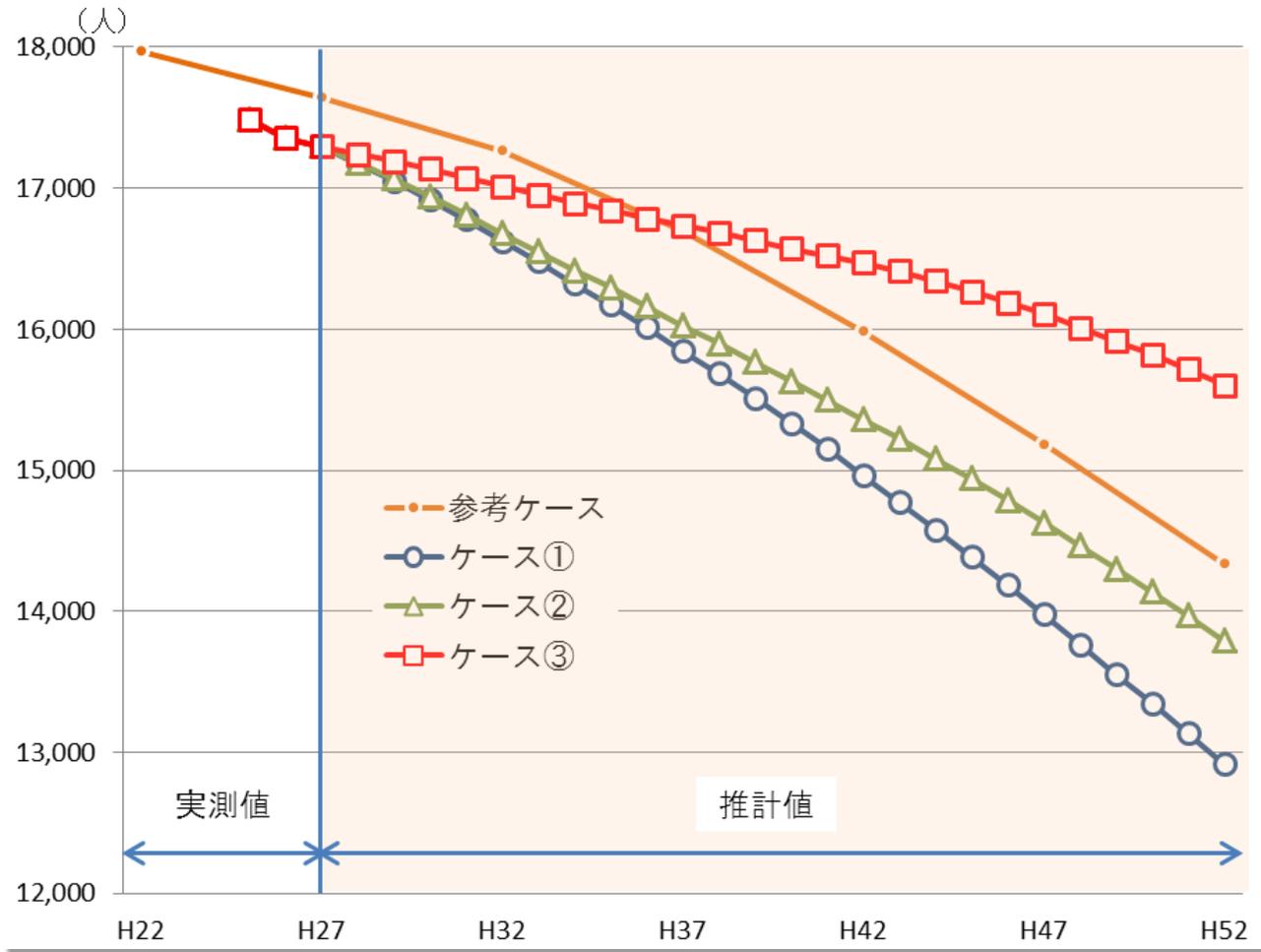
- 仮定条件：平成42年に合計特殊出生率が1.80（ケース①は1.08）に線型的に回復

■ ケース③ ： ケース②の条件に加え転出者が抑制された場合

- 仮定条件：転出人口が全ての年齢において10%減少

■ 参考ケース ：（独）国立社会保障・人口問題研究所による推計結果

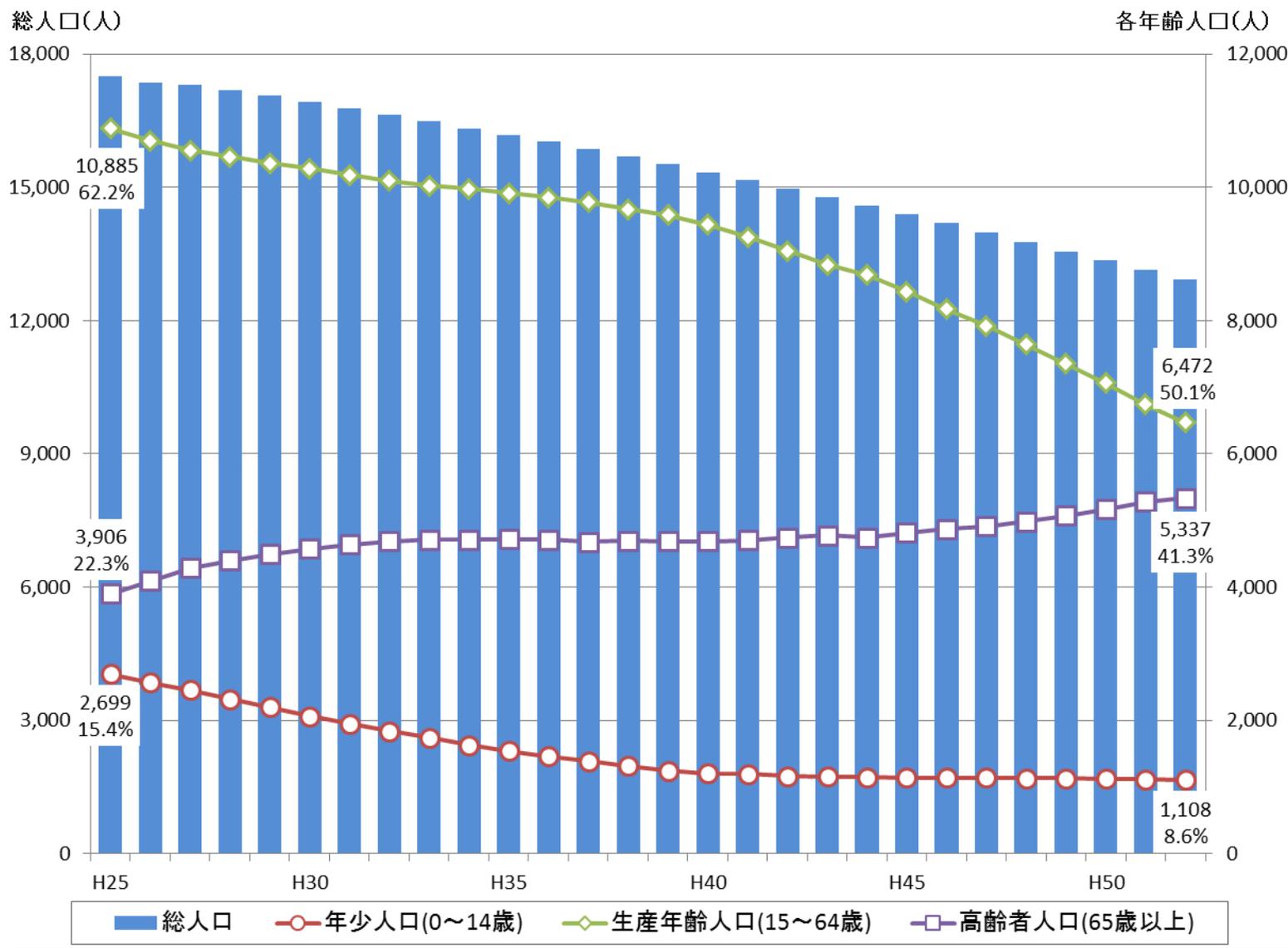
大井町将来人口推計の試算結果（１）



	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
ケース①	—	17,298	16,627	15,848	14,961	13,978	12,917
ケース②	—	17,298	16,681	16,027	15,361	14,629	13,790
ケース③	—	17,298	17,011	16,733	16,470	16,109	15,602
参考ケース	17,972	17,644	17,265	16,695	15,988	15,187	14,338

大井町将来人口推計の試算結果（2）

■ ケース①における年齢3区分別人口



大井町将来人口推計の試算結果（3）

■ ケース①における人口動態

